

2014. 7・7 尚綱高校 震災復興交流学習会

日時：2014年7月7日

場所：名取市閑上地区、愛島東部仮設



尚綱高校の3年生を対象とした震災復興交流学習会が今年も予定されました。

今年は3クラス約100名の生徒が参加しました。

主なプログラムは、名取市閑上地区で、閑上の震災について語り部さんに説明していただきながら、町内全域を見て回りました。



午前中の閑上での学習会に続いて、自らも被災して今は家族とともに、愛島東部仮設団地で暮らしている長沼さんから、自身の被災された状況について写真を使って詳しくお話ししていただきました。閑上に住む大半の方は、閑上に津波は来ないと信じ、津波への備えが疎かになっていたこと、情報を知らせる災害無線が地震で機能しなかったこと、情報が錯綜して混乱したことなどについてお話しをいただきました。



交流会では、避難所での暮らしや仮設住宅での暮らしの様子など教えていただきました。

孫のような生徒たちと時間の経つのも忘れ話し込んでいました。



意気投合して学校での様子もヒソヒソ……。
女同士の楽しいお話しが繰り広げられたようです。
話しの中身はヒ・ミ・ツだそうです。
陽だまりを感じさせる、尚絅生のこのような姿・笑顔は、被災された方にどれほどの力に成ることでしょうか。ありがとうございます。



仮設団地集会場では真剣勝負の名人戦が始まり緊張した雰囲気……。
勝敗の結果は、写真のと通りの構図？で、年功者の完全勝利のようです。久々の将棋に大変うれしかったようです。



この日は、仮設の方に特別に3月11日のその時のお話しをお願いしました。其々のグループで津波の怖さや備えること・情報を得ることの大切さをお話しして頂きました。



フィナーレは、愛島東部団地の恒例になっている全員でのダンスタイム。
皆さんのあふれる笑顔が素敵です。
高校生の皆さんありがとうございました。